

2024年9月28日

ブックオフグループホールディングス株式会社

Jalan Jalan Japan Vodnik Alatau 店

2024年9月28日(土)オープン

ブックオフグループのカザフスタン法人 J&K TRADING LLC は、リユース店舗 Jalan Jalan Japan (ジャラン・ジャラン・ジャパン、以下 JJJ) の直営 3 号店 Vodnik Alatau (ヴォドニック・アラタウ) 店を現地時間の 2024 年 9 月 28 日 (土) にオープンいたします。2024 年 4 月に合併会社 J&K TRADING LLC を設立後、今年度で 4 店舗目 (加盟店含む) の出店となり、カザフスタン共和国国内では合計 6 店舗になりました。海外事業における中期経営方針のひとつ「2033 年度までに JJJ 100 店舗」の実現に向けて、出店を加速させてまいります。

■Jalan Jalan Japan Vodnik Alatau 店

カザフスタンでは日本の良質なアパレルが人気を博しており、今年度オープンした直営 2 店舗は共にアパレル専門店としてオープンしていました。メンズ・レディース・キッズの洋服・着物・靴やバッグといった服飾雑貨など常時 10 万点を取りそろえています。ヴォドニック・アラタウ店では、現地で人気のアパレルに加え雑貨やウィンタースポーツ用品、車のアクセサリ等を取り扱うのが特徴です。とりわけカザフスタンではウィンタースポーツの人気が高いため、JJJ の既存店ではもともとスキー・スノーボードといったスポーツ用品に大変ご好評をいただいております。このように現地のニーズに合わせた店づくりを通じて、現地のお客様へ様々なリユースの魅力伝えてまいります。

■店舗概要

店舗名 : Jalan Jalan Japan Vodnik Alatau 店

所在地 : Ili district, Burundai village (Vodnik) Alatau str. 2 building 30

売場坪数 : 約 290 坪

取扱商材 : 洋服・靴・靴・ウィンタースポーツ用品・カーアクセサリ

オープン : 2024 年 9 月 28 日(土)午前 10 時(現地時間)

営業時間 : 10:00~22:00

■「Jalan Jalan Japan (通称: JJJ)」について

ブックオフグループでは年間で約 4 億点以上をお客様より買取しているものの、販売点数は 3 億点未満と、その全てを販売するには至っておりません。売れ残った商品はリサイクルするなどして資源化に努めておりますが、やむを得ず廃棄処分となるものもあります。この問題を解決する出口戦略として誕生したのが、海外のリユース店舗である JJJ です。

JJJ1 号店は 2016 年、マレーシアでオープンいたしました。「Jalan Jalan」はマレー語で「ぶらぶらする、散歩する」を意味するマレーシアでの日常的な言葉です。「気軽に日本の雰囲気を楽しんでほしい」という思いを込めて名付けられており、店内には衣類・生活雑貨・ベビー用品・おもちゃ・ホビー・スポーツ用品・楽器・家具・アクセサリなど、日本から輸出した中古品をズラリと陳列。ご家族連れで訪れたお

お客様が、長い時間にわたって、宝探しのような感覚で、カゴいっぱい買い物を楽しめる環境を整えております。2023年は、レジ通過ベースで170万人にご利用いただき、また日本で販売しきれなかった商品3,600トンを廃棄することなく、現地のお客様にとっての「楽しく豊かな生活」につなげました。

■カザフスタン現地法人設立の経緯

カザフスタンでは2022年より加盟店としてJJJを2店舗出店しましたが、それぞれ業績が好調に推移しています。その背景として、中央アジアの地理的特性から物流面のハードルが非常に高く日本からの流通が少ないこと、加えてリユースになじみのないカザフスタンお客様にとって、JJJが新鮮な店舗として受け入れていただけていることが挙げられます。そこで、当社が直接資本とノウハウを投入することによって、カザフスタンにおける多店舗展開と、市場シェアの獲得が可能になるのではと考えました。また、同国における日本企業の事業活動はあまり例がありません。日本人にとって不慣れた事業環境に対処していくためにも、同国におけるJJJ加盟企業の協力を得て、合併会社の設立に至りました。今後5年間で、カザフスタンに30店舗の出店を目指します

■J&K TRADING LLCについて

会社名：J&K TRADING LLC

設立：2024年4月

所在地：カザフスタン共和国アルマトイ市

資本金：155百万KZT（カザフスタンテンゲ）

代表：Zhanayev Bakytzhan

出資比：ブックオフコーポレーション（55%）、KAZ AGRO PROJECT（45%）

■ブックオフグループの海外戦略

ブックオフグループは昨年度に中期経営方針を発表し、海外事業を「成長期待事業」に位置付けており「米国BOOKOFF事業で100店舗」「JJJ事業で世界100店舗」を10年後の目標に据え、積極的な出店を推進しております。今回の出店で海外事業全体の店舗数は38店舗になりました（米国16店舗、フランス3店舗、マレーシア13店舗、カザフスタン6店舗）。JJJは日本でリユースが難しいモノの出口戦略としての価値も高く、出店拡大は「日本のすてない社会」にもつながっております。

■ブックオフグループ

BOOKOFFは1990年、神奈川県相模原市の住宅街の35坪の店舗からスタートしました。経営理念「事業活動を通じての社会への貢献」と「全従業員の物心両面の幸福の追求」の下、約70社の加盟企業と共に成長を続け、現在はグループ全体で国内外約800店舗を運営。年間利用者は約9,000万人、年間売買取点数6億点を超えています。またリユース市場の成長に合わせて、百貨店内などにおけるプレミアムサービス事業や、日本国内に留まらず海外への事業展開も積極的に展開しています。今後もミッション「多くの人に楽しく豊かな生活を提供する」に則り、持続的な成長を目指してまいります。

コーポレートサイト：<https://www.bookoffgroup.co.jp/>

《本件に関する報道関係者様からのお問合せ先》
ブックオフグループホールディングス株式会社
ブランドコミュニケーション室：伊藤・鈴木
252-0344 神奈川県相模原市南区古淵2-14-20
e-mail：ccinfo@bookoff.co.jp